

ウイルス性白血病 拡大

成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。九州に多い成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。九州に多い成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。九州に多い成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。

主に母乳を介して乳児に感染し、九州に多い成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。九州に多い成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。九州に多い成人T細胞白血病(ATL)は、母乳から感染する。

関東 90年比1.5倍

成人T細胞白血病の原因ウイルスの感染を防ぐには、妊娠したら血液検査を受け、感染の有無を調べる。1次検査で陽性反応が出ても疑陽性の場合があるので2次検査を受ける。

感染が確認されたら、人工乳を与える。母乳を与える時期を生後3カ月までにする。母乳をいったん凍らせてから与える。



(厚生労働省研究報告書から)

1990年比で11万4千人減ったが、首都圏では増えている。人の移動が原因とみられる。

調査の地域分けの違いで単純に比較はできないが、関東は19万人で6万2千人増、中国、四国でも増えている。90年は九州、沖縄の感染者が全体の50.9%を占めていたが、今回45.7%まで低下した。関東は10.8%から17.7%と増えた。

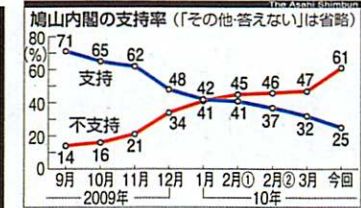
調査年	九州・沖縄	関東	中国・四国	北陸・東北	北海道
1990年 (119万3000人)	51%	17	11	9	7
2006~07年 (107万8722人)	45%	16	18	7	8

91年の厚生省(当時)研究報告では、発症者は全国で700人と推定され、2005年前後にはほぼ根絶するとみられていた。感染者も九州に集中していたことから、厚生省は検査を妊婦健診に加えるかは自治体に委ねていた。

検査費用は8500~19900円。検査を公費で負担している。

研究班は「全国で検査して母子感染予防を検討する時期と結論づけた。感染率が低い。すべての妊婦が検査を受け、対策を施せば世代で病気を根絶できる」と話す。厚生省母子保健課は「検査の公費負担も含め検討したい」としている。

母乳から感染 妊婦検査徹底されず



内閣を支持しない人にその理由を四つの選択肢から選んでもらって、57%が「実行力の面」を挙げ、不支持急増の要因になっている。

首相の仕事ぶりを4段階評価で聞くと、「期待外れ」が53%と半数以上を占め、「もっとも」を期待して「いい」の31%と合わせてると、否定的な見方が8割を超えた。

内閣支持率が、一般に「危険水域」とされる2割台に突入した。鳩山由紀夫首相は周りに「もっと信頼してほしい」と語り、政権運営に強い決意を示しているが、首相の指導力に世論が向ける目は厳しさを増す一方だ。米軍普天間飛行場の移設問題で、期

限の5月末までに決着できなかったら、首相の進退論が浮上するのは必至だ。下り止まらない支持率に、政権・与党内には危機感が広がっている。

「前原誠司国土交通相は18日、千葉県船橋市で記者団に「支持率が下がりが始めた原因は、5月末までに決着できなかったら、首相の進退論が浮上するのは必至だ。下り止まらない支持率に、政権・与党内には危機感が広がっている。」と語った。

朝日新聞社が17、18の両日実施した全国世論調査(電話)によると、鳩山内閣の支持率は25%で前回調査(3月13、14日)の32%から下落し、昨年9月の政権発足以来初めて3割を切った。不支持率は61%(前回47%)に急増した。民主支持率28%(同27%)、参院選比例区の投票先の民主24%(同30%)も低下が止まらず、政権離れ、民主離れが進んでいる。

米軍普天間飛行場の移設で「あまり信頼していない」「まったく信頼していない」が合わせて74%に達している。首相自身に厳しい目が向けられている。

内閣支持続落25% 不支持は急増61%

本社世論調査

調査項目	前回	今回
政党支持	民主 27% → 23%	自民 15% → 14%
参院比例区投票先	民主 30% → 24%	自民 21% → 20%
普天間移設決着できなかったら鳩山首相は	辞任すべきだ 51%	辞任する必要はない 40%
民主・自民に対抗できる大きな政党ができたほうがよい	52%	37%

首相の指導力に失望感

「期待通り」も13%にとどまる。民主支持層でも「期待外れ」とする人は51%にのぼった。首相の政治手腕への信頼度も「大いに信頼」「ある程度」も合わせてると、否定的な見方が8割を超えた。

2010年(平成22年) 4月19日 月曜日

朝日新聞

天気 6 9 12 15 18 21時

水戸 0 15
宇都宮 0 16
前橋 0 17
さいたま 0 18
千葉 0 19
東京 0 19
横浜 0 19
甲府 0 19
静岡 0 19

朝日新聞東京本社 発行所:〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話:03-3545-0131 www.asahi.com

あみもの手芸ソーイング Clover http://www.clover.co.jp

The Asahi Shimbun GLOBE

カナダ、超大国の隣で

オバマ米大統領も愛用する高機能携帯電話「ブラックベリー」。開発したカナダ企業は、いまま創業地の小都市に本社を置く。米国という圧倒的存在の隣にあっても、独自の吸引力を発揮する仕組みが、あるからだ。日本にも問われる「超大国の隣」での生き残り戦略を探る。(G1~G5)

センター8ページ 抜き出してお読み下さい。

プロ野球 金本、フル出場記録止まる

プロ野球・阪神の金本知憲外野手(42)の連続試合全インニング出場記録が1492で止まった。右肩を痛め、自ら先発を外れることを申し出た。代打で出場し連続出場は1638に。19.30面

経済 「ガンブラ」国産賞き30年

アニメ「機動戦士ガンダム」の人気ロボットのプラモデル「ガンブラ」が7月で発売30年を迎える。製造元バンダイが売った4億個はすべて日本製。職人技が品質の支えだ。6面



2010年(平成22年)
4月19日
月曜日

ウイルス性白血病 拡大

母乳から感染 妊婦検査徹底されず

主に母乳を介して乳児に感染し、九州に多い成人T細胞白血病(ATL)のウイルス感染者が、関東地方では20年近くで1.5倍に増えるなど全国に広がっていることが厚生労働省研究班の調査でわかった。妊婦の感染を調べる血液検査が徹底されていない実態も判明。研究班は、感染の根絶には全国的な検査の徹底が必要との提言をまとめた。(坪谷英紀)

関東 90年比1.5倍

成人T細胞白血病(ATL)
HTLV-1というウイルスの感染が原因で起きる血液のがん。感染から50年ほどたつてから発症する。抗がん剤治療や骨髄移植が行われるが、ウイルスの増殖を抑える効果的な方法がなく根絶が難しい。このウイルスは、難病の脊髄(せきすい)症(HAM)も引き起こす。感染した母親が4カ月以上母乳で育てた場合の乳児への感染率は15〜20%とされる。前宮城県知事の浅野史郎さんが昨年6月に緊急入院したことで関心が集まった。

成人T細胞白血病の原因ウイルスの感染を防ぐには

- 妊娠したら血液検査を受け、感染の有無を調べる
- ※1次検査で陽性反応が出ても疑陽性の場合があるので2次検査を受ける

感染が確認されたら

- ① 人工乳を与える
 - ② 母乳を与える時期を生後3カ月までにする
 - ③ 母乳をいったん凍らせてから与える
- ※①〜③の対策でかなり感染を減らせるが、約3%の確率で感染する可能性がある



(厚生労働省研究班報告書から)

ATLは母乳や精液に含まれるウイルスで感染する。生涯発症率は約5%と低いが、根絶は困難。感染していれば母乳をやめて人工乳にするのが最も効果的とされる。厚生労働省の研究班(主任研究者、山口一成・国立感染症研究所客員研究員)は2006〜07年、献血した16〜65歳の男女の血液から推計。全国の感染者は107万9千人で、関東は10.8%から17.7%

首都圏で広がる成人T細胞白血病ウイルスの感染者

	※厚生労働省研究班の資料から。カッコ内は全国の感染者数				
	九州・沖縄	近畿	関東	北海道・東北	中国・四国
1990年(119万3000人)	51%	17	11	9	75
2006~07年(107万8722人)	46%	16	18	7	86

1990年比で11万4千人減ったが、首都圏では増えていた。人の移動が原因とみられる。調査の地域分けの違いで単純に比較はできないが、関東は19万人で6万2千人増、中国・四国でも増えていた。90年は九州・沖縄の感染者が全体の50.9%を占めていたが、今回45.7%まで低下。検査費用は850〜1900円。検査を公費で負担して

いるのは長崎や鹿児島など一部の県だけだ。しかし、ここ数年、ATLの死者は年間1100人前後で推移、発症者が増えている。そこで厚生労働省の別の研究班(主任研究者、斎藤滋・富山大教授)が全国1668カ所の産科の検査の実施状況を調査(回答率38.3%)。実施率は全国平均87.8%で、99.1%だったHIV検査に比べ徹底されていなかった。中国(79.5%)、北海道・東北(83.3%)、関東(84.6%)が低く、九州・沖縄でも87.8%にとどまった。研究班は「全国で検査して母子感染予防を検討する時期」と結論づけた。斎藤教授は「妊婦も医師も関心が低い。すべての妊婦が検査を受け、対策を施せば2世代で病気を根絶できる」と話す。厚生労働省母子保健課は「検査の公費負担も含め検討したい」としている。